様式３(2020.08改)

作成日　令和２年１０月３日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373900493
事業所名	グループホーム稲沢重本の家

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入しています。回覧板は回ってきていませんが、地域情報は区長や近所に住む利用者家族から随時入ってくるほか、広報の中からも何かと拾っています。昨年冬季には参加できた「ゴミゼロ運動(職員4名)」や「御宮の掃除(職員3名)」はコロナ禍で中止となり、日本舞踊や南京玉すだれのボランティアも休止しています。それでも野菜が届いたり、区長に「お地蔵様」のお菓子をおすそ分けしてもらえています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議については、4月に稲沢市高齢介護課より書面で指示並びに連絡があり、「管理者が2ヶ月分の活動内容をまとめて区長、地域包括支援センターに送付、情報、助言を得たうえで議事録にまとめる」という方法で代替しています(議事録は市と地域包括支援センター、家族代表へ提出しています)。6月、8月も同様の方法をとっています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	生活保護受給者の介護保険の受領書を届けたり依頼書を持参するなど、介護福祉課には少なくとも月1回は出向いています。コロナ禍を鑑みた行政の窓口制限は特になく、引き続き通常のやりとりを続けています。また、介護福祉課からも年に1回以上は生活保護受給者の様子確認の訪問があります。市主催の研修会や集団指導には出席を重ねてきましたが、本年はいずれも中止です。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	居室担当制を敷いてはいませんが、職員は全体をよく把握したうえで申し送りノートに利用者の想いを残して情報共有しており、要望にも可能な限り応えています。利用者の言動については、面会の場や電話などを通じて家族に「自宅のときもありましたか？」といった質問をして周辺情報を整理するとともに、「家族とともに介護を考える」よう努めています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										